

喜多流

第57回 青年能



賀茂物狂 高林昌司
大会 谷友矩

令和7年 5月24日(土) 十四世喜多六平太記念能楽堂
13:00開演(12:00開場)
主催：公益財団法人十四世六平太記念財団
協力：一般社団法人喜多流職分会

チケットご購入のご案内 発売日: 2月23日(日)

一般前売券4,500円(当日券5,000円)/学生前売券2,000円(当日券2,500円)

※25歳以下、要学生証提示 全席自由席

青年能事前講座

日時 5月17日(土)11:00~13:30 / 5月22日(木)19:00~20:30

会場 喜多能楽堂 お問い合わせ kita.seinennoh@gmail.com

インターネット 発売日:2月25日(火)

喜多能楽堂ホームページ <https://kita-noh.com/ticket/>
(24時間対応、要登録・無料)



【お受け取り・お支払い】

①セブンイレブン

ご予約の際画面に表示される番号をレジにご提示の上チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

②喜多能楽堂事務局 窓口 (令和7年4月1日よりチケットのお受け取り可)
ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受け取りください。お支払いは現金のみになります。事前に予約画面にてクレジットカードによるオンライン決済をお済ませください。当日のお支払いはお受けいたしかねます。

電話予約 発売日:2月26日(火) 10:00~

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813
(10:00~18:00 休館日あり)

【お受け取り・お支払い】

①セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

②喜多能楽堂事務局 窓口 (令和7年4月1日よりチケットのお受け取り可)
ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受け取りください。お支払いは現金のみになります。

窓口予約

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813
(10:00~18:00 休館日あり)

【お受け取り・お支払い】

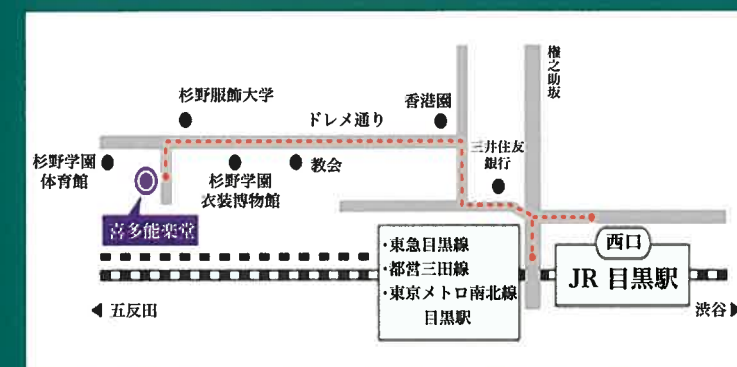
お支払いは現金のみ、チケットは窓口でお受け取りください。

※お受け取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内致します。
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

各同人でもチケットを受付しております

※演目のシテよりチケットの販売もございます。詳しくは
kita.seinennoh@gmail.com よりお問合せください。

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分
目黒駅西口よりさくら情報システム裏手のドレメ通りを直進、杉野学園体育館手前を左に入る

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL:03-3491-8813

FAX:050-3204-7352

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



※ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせたのご来場をお願い致します。
- ・公演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はお断りいたします。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真、ビデオ撮影、録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光が出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー、見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂内に食堂や軽食の売店はございません。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。
- ・お席を離れる場合は貴重品お手回り品にご注意ください。盗難紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

●次回喜多流青年能予告
令和7年9月27日(土) 13時始

巻鴉 絹飼 金子狩野 龍晟祐一

番組

仕舞
桜川 金子龍晟
野守 狩野祐一

佐藤 陽
塩津 圭介
佐藤 寛泰
谷友 矩

シテ・女 高林昌司

能 賀茂物狂

ワキ・都の男 館田善博
ワキ連・男の従者 梅村昌功

大鼓 亀井洋佑
小鼓 清水和音
笛 藤田貴寛

後見 高林呻二
大島伊織

地謡
谷友 矩
佐藤 寛泰
友枝 真也
狩野 祐一
大島 輝久
狩野 了一
内田 成信

休憩二十分

狂言 簸屑

シテ・太郎冠者 野村拳之介

アド・主人 河野佑紀
小アド・次郎冠者 野村眞之介

休憩十分

シテ連・帝釈天 大島伊織

後シテ・天狗
前シテ・山伏 谷友矩

能 大会

ワキ・比叡山の僧正 則久英志

間・愛宕山の木の葉天狗 野村万之丞

大鼓 柿原孝則
小鼓 住駒充彦
太鼓 林雄一郎
笛 栗林祐輔

後見 栗谷浩之
狩野祐一

地謡
金子龍晟
佐藤 陽
塩津 圭介
高林昌司
佐々木多門
友枝 雄人
金子敬一郎

附 祝言

終了予定 午後四時半頃

賀茂物狂(かもものぐるい)

東国見物の旅に出た都の男が十年を経て家へ帰るとそこで妻が行方知れずとなつていと聞く。たまたま賀茂の葵祭りの時期なので再会を祈るためと上賀茂神社に赴く。葵祭で大勢が賑わう中、夫への帰りを待ち焦がれる故に物狂となつた狂が現れる。男は妻とは気づかず神事であるから心を静めることを勧める。

舞歌によせて女が孤独な胸中を打ち明けるうち、お互いが探し求めた男女同士であることに気付く。しかし二人とも人目をはばかって名乗り出せず、素知らぬ顔をして別れたが、それぞれ別の道をたどつて家へと向かい再会を果たす。

(約八十分)

簸屑(ひくず)

太郎冠者が主人に言いつかつて茶の簸屑を茶臼で引いてるうちに眠気が襲ってきます。そこへやってきた次郎冠者が眠気を覚まそうと話をしたり舞をまったりするが太郎冠者はそのまま眠ってしまった。それを見た次郎冠者は怒つて太郎冠者に鬼の面を被せてしまう。

(約三十分)

大会(だいえ)

比叡山の僧正のもとに山伏が訪ねる。山伏は以前命を助けられた御札に望みを叶ると言い僧正は釈迦如来が靈鷲山で説法せられた有様を目の当たりにしたいと所望する。山伏は引き受けるが、決して拜んではいけないと約束し、目を閉じてお待ちになり佛の声が聞こえたら目を開きご覧くださいといひ姿を消す。

山伏の正体は天狗であり鷹の姿となつて飛び回つて蜘蛛の巣に当たり落下し京童どもに殺されそうになつていてるところを僧正に救われた。

僧が目を閉じて待つていと声が聞こえ目の前に釈迦の説法が再現される。僧正はその荘嚴な雰囲気思わず約束を忘れ涙を流し拜んでしまう。すると突然、天地が震動して帝釈天が現れ僧をだました天狗を懲らしめる。魔力を失つた天狗はふらふらになり洞窟へと逃げ去つていく。

(約六十分)